

平成26年度 国際戦略推進人材育成事業

【戦略提案】 競争力のあるMICEエリアを目指して

平成27年2月

Group C

1. マカオ研修のテーマと戦略提案

(1)Cグループのテーマ:

国際観光都市マカオを、できるだけ多くの体験を通して理解し、
沖縄県の強み・弱みをとことん議論したうえで、
具体的な統合リゾートのイメージを描く

(2)マカオ視察でグループとして特に力を入れたこと

- ①カジノ、ナイトライフやファミリー向けコンテンツ
→可能な限り体験
- ②香港、広東省と一体化がすすむ巨大経済圏としての理解
→広東省珠海市への視察遠征
- ③カジノを有する国際観光都市における生活環境の理解
→住民からの聞き取り

1. マカオ研修のテーマと戦略提案

(3)視察を通して感じたことは、

- ①カジノ産業の強烈的な収益力
- ②マカオ、香港、中国のダイナミックな経済成長
- ③そして“世界水準の国際観光リゾート地”を目指す沖縄として、
マカオもそのライバルということであれば、これまで以上に
大胆な取り組みが必要ということ



以上のことを踏まえ、MICE施設を含めた統合リゾートについて、
敢えて大胆な具体的な提案に挑みます！

- I MICE編 ……MICE施設そのものについての提案
- II 統合リゾート編 ……MICE施設と共に構成される
複合リゾートエリアについての提案

I MICE編

I MICE編

1. 観光地としてのマカオと沖縄

マカオは、

- ①東西が融合した独特の文化、
 - ②歴史に彩られた世界遺産、
 - ③バラエティに富んだホテル群、
 - ④アジア随一のエンターテインメント、
- そして“カジノ”…マカオは観光地としての多様な魅力を有する。

一方沖縄は、

- ①東洋のガラパゴスといわれる亜熱帯の自然、
 - ②見るものをとりこにする豊潤な文化、
 - ③先人たちによって培われてきた伝統など、
- 沖縄観光をけん引するソフトパワーも、決して劣ることはない魅力を有し、無限の可能性を秘めている。

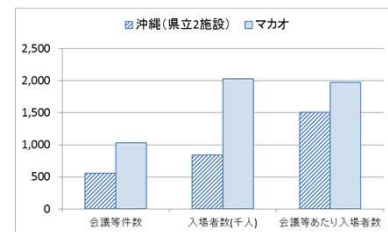
→観光地としての沖縄は決してマカオに劣ることはない。
しかしMICEを推進する視点から見るとどうか…

I MICE編

2. MICEの現状

(1)MICE開催の現状

沖縄におけるMICEは、2000年の九州沖縄サミットを前に、推進が加速され、県立の沖縄コンベンションセンター及び万国津梁館が、中心施設となってきた。
件数、規模のマカオとの比較は以下のとおり。



(出所)マカオ政府観光局、沖縄県

2. MICEの現状

(2) 沖縄の大型MICE構想
 現在沖縄県では、既存の施設では対応できない大型MICEを誘致するために、2020年度の供用開始に向けて施設整備の検討を行っており、
 ①展示会、コンサート等多様なイベントに対応できる2万㎡程度の展示場、②企業の報奨旅行のディナー等に対応可能な7,500㎡程度の多目的ホール、③学会開催時の分科会等に対応できる20室～30室の中小会議室などの機能をもった複合施設が想定されており、その立地場所等について、様々な議論が行われているところである。

マカオとの比較は以下のとおり。

	沖縄大型MICE構想	マカオ:コタイストリップ
展示場	2万㎡程度	3.7万㎡×2
会議室	20～30	250
宿泊部屋	?	9,000

3. MICEの推進環境の違い

MICEの推進において、マカオには沖縄に比べて優位性があるのでは？

なぜなら、まず第1に

- (1) 成長著しい中国大陸と直結
 ① 周辺地域の経済規模と経済成長

	マカオ	香港	広東省	中国	沖縄	日本
人口	58.2万人	717万人	1.6億	13億人	142万人	1.28億人
GDP	3.6兆円	19.4兆円	76兆円	636兆円	3.8兆円	473兆円
経済成長率(%)	9.9	1.4	8.5	7.8	1.7	0.3
年(年度)	2012	2012	2012	2012	2011	2011

- ② 交通網の整備(香港、大陸と一体化)
 ・香港、広東省珠海市と結ぶ50kmの港珠澳大橋 建設中
 ・マカオLRT(モノレール) 2路線が2016年から順次開業予定。
 ③ マカオに隣接する珠海市横琴地区・・・国家級の開発区として指定
 ④ マカオの客室は、2020年までに54,000室(現在28,000室)となる。
 →つまり、活発な経済活動(=MICE需要)、交通網の飛躍的発展

3. MICEの推進環境の違い

(2) 収益の柱“カジノ”の存在

産業多様化に向け、官民ともにカジノの利益を用いてMICEを補助、支援(MICE自体が赤字でも問題ない)

- 官 カジノ税収 1.7兆円で、財政収入の約8割(2015年度予算)
- 民 “カジノなくて特色あるIR施設を建設することは不可能だ”
 ...ローレンス・ホー(メルコクラウン社共同会長)

⇒世界上位の観光リゾート地形成を目指す沖縄は、MICEの誘致を、このような地域と争うこととなる。

...ありふれた施設整備だけでは、太刀打ちできない!



4. MICE産業の特徴と戦略

ここで改めて確認したいのは、MICE産業が、初期に大規模な投資を行い、長期間にわたりそれを回収するという、装置産業であるということ
 ⇒つまり、大規模な初期投資をいかに実現し、その後、どのように高い稼働率を実現するかが課題

豊かな観光資源を有するとはいえ、カジノ導入を見送り、島しょ経済特有の制約を抱え、自主財源に限られる現実を直視すれば、沖縄が他地域と同様の取り組みをしていけば、大規模投資を呼び込み、国際的な大規模MICE誘致を成功させ、高い稼働率を実現することは、容易ではない。

このような課題と状況に対応するため、マカオでは感じられなかった独特の温かく優しい空気感など、いわゆる沖縄のソフトパワーの活用を基本としつつ、MICE施設についてMICE施設を多用途化(共用化)するべきでないか? 具体的には、

- (1) 既存施設の活用
- (2) 多機能施設としての新規整備

5. 戦略提案

(1) 既存施設の活用

初期投資が抑えられ、収益性が確保できる。

→既存スポーツ施設等を屋内化し、MICE施設として活用できないか?

具体例:

- ① セルラースタジアムの屋内化⇒セルラードーム
- ② 県総合陸上競技場の屋内化⇒沖縄総合アリーナ



東京ドーム



埼玉スーパーアリーナ

5. 戦略提案

(2) 多機能施設としての新規整備

いわゆるMICEの範疇を超えた機能を合わせてもたせることで、稼働率(平準化)を向上させる。

具体例① スポーツコンベンションの拠点として

展示場を野球やサッカー、バスケット等の会場として利用
 天候に左右されず競技等ができ、「スポーツアイランド沖縄」戦略とも合致
 知事公約「11対応サッカー場とボールパーク」も?
 ...沖縄は雨も多く、日差しも厳しいので、実は選手も応援するほうも大変?

具体例② 広域防災拠点として

平常時にはMICE施設として活用されるが、災害時には防災・復興活動の拠点として活用する広域防災拠点化することで、防災機能に見合った経営支援・補助を受けて、収益性を確保できないか。

広域防災拠点: 大災害時に、救援物資等の中継・分配、海外からの支援物資・人員の受入、災害医療支援、物資等備蓄を行うもの。
 平成26年度に知事公室において基礎調査が実施され、平成27年度に沖縄県大災害時受援計画等の策定が予定されている。

この他にも文化芸能の発信拠点など、多様な活用方法が考えられる!

6. MICE編のまとめ

- ①観光地としての沖縄は決してマカオに劣ることはない。
- ②しかし、MICE推進の視点からみると、今回視察したマカオと比較すれば競争するうえで優位でなく、これは直視すべき。
- ③初期投資と稼働率という課題を克服するため、MICE施設を多用途化(共用化)する方向性を提案したい。
- ④県内においても多くの既存施設があり、また新たな施設整備計画もある。これらを多用途化(共用化)の観点から改めて検討しては。
- ⑤県庁において、多用途化は、部課を横断するということ
- ⑥部課を横断する発想を産み出し、それを実現するための体制作りが、まず必要かもしれない。

II 統合リゾート編

1. マカオ視察から考える統合リゾート

マカオ視察から分かったこと

MICEだけで収益を確保することは困難

- マカオは、カジノと融合してMICE誘致を推進している。
 - 収益を確保しながらMICEを推進するためには、多様なコンテンツとの融合が不可欠。
- ↓
- 観光収入を増やしなが、MICEを推進するためには、どのような取組が必要か。マカオと沖縄の状況の比較を通して検討してみた。

2. マカオにおける観光客の状況①

○2013年マカオ観光客数: 約3千万人(29,325千人)

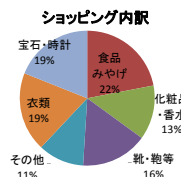
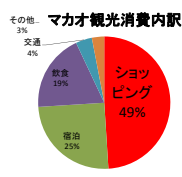
2013年マカオ観光客数		
	(千人)	割合
総数	29,325	-
アジア圏	28,609	98%
中国本土	18,632	64%
香港	6,766	23%
台湾	1,001	3%
日本	291	1%

- アジア圏からの観光客が98%を占める。
- その中でも、中国本土からの観光客は64%
- 平均滞在日数は1日

2. マカオにおける観光客の状況②

○2013年マカオ観光消費額: 58,541百万MOP
(860,553百万円)

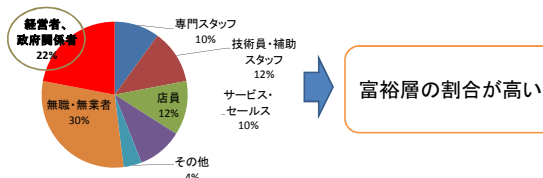
2013年マカオ観光消費額		円換算
総額(百万MOP)	58,541	860,553
一人当たり消費額(MOP)	2,030	29,841
宿泊客	3,475	51,083
日帰り客	662	9,731



○ショッピングの満足度は86%(2013年マカオ政府観光統計)

2. マカオにおける観光客の状況③

マカオ観光客の職業構成



富裕層の割合が高い

マカオの観光消費
10%ほどの富裕層で、全体の70%を占める
(「CLAIR REPORT No.371 地方都市への中国人訪日観光客の誘致」)

一人あたり観光消費額は高くないが、富裕層の消費は旺盛。

II 統合リゾート編

3. 沖縄における外国人観光客の状況①

○平成26年沖縄県入域観光客:
705万6,200人(外国人89万3,500人)

平成26年入域観光客数(外国)		
	(千人)	割合
台湾	344.1	39%
韓国	155.1	17%
中国	113.4	13%
香港	123	14%
その他	157.9	18%

- ・総数及び外国人観光客数ともに過去最高値を記録
- ・台湾、韓国、中国、香港の4カ所を占める
- ・路線の新規就航および既存路線の増便があり、空路客が大幅に増加
- ・那覇空港新国際ターミナルビル及び那覇港の旅客ターミナルビルの供用開始などハード面が整備されたことも、外国客の増加に寄与

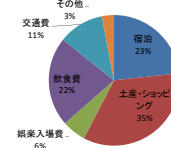
II 統合リゾート編

3. 沖縄における外国人観光客の状況②

○平成25年度沖縄県観光収入:447,868百万円

平成25年度観光収入 (円)	
総額	447,868,000,000
一人当たり消費額(円)	68,062
外国人(空路)	4,206,600,000
一人当たり消費額	96,548
外国人(クルーズ)	502,500,000
一人当たり消費額	26,238

沖縄海外観光客消費内訳



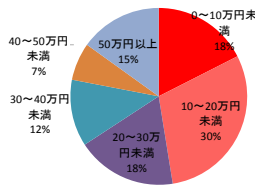
沖縄で購入した商品(複数回答)	
菓子類	71.7%
医薬品	46.9%
飲食物	45.1%
衣類	40.0%
雑貨	38.2%
化粧品・香水	34.6%
宝飾品・時計	5.6%

○ショッピングの満足度は低い(20.3%が沖縄が劣っているものと回答)

II 統合リゾート編

3. 沖縄における外国人観光客の状況③

外国人観光客の月収別構成



富裕層の割合が低い
(20万円未満の割合が高い)

富裕層を呼び込むことで、観光消費額を
拡大する余地があるのでは

II 統合リゾート編

4. マカオと沖縄の比較から分かったこと

- ・マカオの観光客のほとんどはアジア圏から。そのうち中国大陸が60%以上を占める。富裕層の割合も高い。
- ・沖縄の外国人観光客一人あたりの消費額は、マカオと比較して高いが、ショッピングの満足度は低い。
- ・購入した商品は、マカオは貴金属等の高額商品の割合が高いが、沖縄は高額商品の割合は低い。

富裕層はほとんどお金をかけて旅行を楽しみたい!
⇒観光コンテンツの充実が必須

II 統合リゾート編

5. 富裕層を呼び込むための課題

それでは、富裕層を呼び込み、「世界水準の観光リゾート地の形成」を実現するための課題は何か?

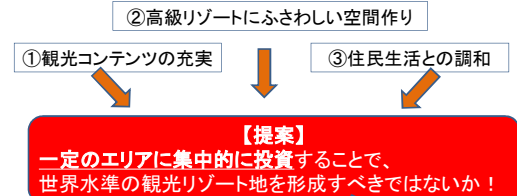
- ①観光コンテンツの充実
ショッピングの魅力向上や、高級ホテル、ナイト・ファミリー向け等、高付加価値コンテンツ
- ②高級リゾートにふさわしい空間作り(コンテンツ以外)
電柱の地中化等の公共整備、緑化、草刈り、美しい街並み、快適な交通手段など
- ③住民生活との調和
観光地での住民生活との摩擦
青少年教育への影響など

沖縄の持つ温かく優しい空気感と、マカオの非日常的コンテンツは、親和的とは言えない。

全県的に実現するには、お金も時間も掛かる!

II 統合リゾート編

6. 提案



入域制限も?

マカオも明確にエリア区分。県内での議論は十分か?

これにより、

- ①沖縄全体を変えるより効率的(お金、時間)
- ②非日常空間としての相乗効果
- ③負の側面も軽減&管理
- ④沖縄の元々の魅力とそのファンをキープ

エリアの魅力向上/県外からの投資

7. 統合リゾート編のまとめ

- ①観光収入増加に向けて、外国人富裕層の誘客が必須。
- ②マカオは高付加価値コンテンツが充実している。
沖縄も富裕層をターゲットとした観光コンテンツの充実が必要
- ③一方で、沖縄の優しい空気感と、マカオの非日常的空気感は、あまり相性は良くないのも事実。
- ④合わせて、高級リゾートにふさわしい空間作りや、住民生活との調和なども重要だが、全県的に実現するには、お金も時間も掛かってしまう。
- ⑤したがって、広く沖縄全体の高級リゾート化を目指すのではなく、一定のエリアに集中投資するべきではないか！
- ⑥具体的なコンテンツについても、国内外の事例を収集、分析し、沖縄の魅力を活かした、エリア形成を図る必要がある。

外国人富裕層 誘客作戦
世界水準の観光リゾート地を形成する



HAWAIIアウラニ・ディズニー・リゾート&スパ

泊まる

日本を代表する 純和風超高級旅館 II 統合リゾート編



和風スイートルーム
2名 7万~15万/泊



3000坪の純日本庭園

移動

本島内無料ローリーダブルデッカー
(2階建てバス)



ショッピングコース(ピンクライン)
敷地内と空港間を循環する

歴史観光コース(レッドライン)

首里城・玉泉洞など歴史的建造物をめぐる

海・景色巡りコース(ブルーライン)

ホテルと美ら海水族館を結ぶ



食べる

日本懐石料理

沖縄懐石料理



沖縄:食はクスイムン(薬物)

中国:医食同源

伊豆長岡 三養荘



沖縄懐石 赤坂渾亭

てびち入り
ちゃんぽんラーメン?

てびちシチュー?



ベネチアンマカオ
ホテル内フードコート
「沖縄フェア」

遊ぶ

多目的シアター



HAWAIIアウラニ・ディズニー・リゾート&スパ

沖縄芸能や音楽、映画(龍神マブヤー)
をファミリーで堪能

遊ぶ II 統合リゾート編

施設内を一週するゴーカート

幼児も保護者と一緒に ちびっ子F1レース開催

ファミリーで楽しめる

遊ぶ

巨大ウォーターパーク
ハワイ「ウエットアンドワイルド」

遊ぶ II 統合リゾート編

超高級SPA～リラクゼーション～

沖縄の海水・海泥・海藻を使用 沖縄コスメをアジアへ発信

遊ぶ II 統合リゾート編

超ラグジュアリー写真スタジオ

メイク・衣装・背景を芸術的に融合させて・・・大変身

日本にもあるけど、品揃えが・・・

遊ぶ II 統合リゾート編

超高級旅客船一泊旅行の旅

船上カジノ

マカオでは高級料理のハト美味しかったです！

ご清聴ありがとうございました